



(東証1部:6848)

東亜ディーケーケー株式会社

平成30年3月期第3四半期決算補足説明資料

平成30年2月

平成30年3月期第3四半期決算サマリー



- ・ 売上高・営業利益及び経常利益は第3四半期累計期間において過去最高
- ・ 売上高は国内・海外ともに好調に推移し増収
- ・ 収益は売上高の増加とコスト削減や製品構成の変化による効果で原価率が低減し増益
- ・ 単月黒字化100か月連続記録達成更新中（平成21年9月から8年4か月）

（単位:百万円）

	H28.3Q 実績	H29.3Q 実績	前年同期比増減	
			金額	%
売上高	9,974	10,714	739	7.4
営業利益	730	990	259	35.6
(%)	(7.3)	(9.2)	—	—
経常利益	777	1,027	250	32.2
(%)	(7.8)	(9.6)	—	—
四半期純利益	501	691	189	37.8
(%)	(5.0)	(6.5)	—	—

（注）本説明資料中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

計測機器事業(増収・増益)

売上高10,515百万円(7.1%増)、セグメント利益1,426百万円(16.8%増)

- 国内の売上高は計測機器市場が回復基調、医療機器市場においては拡大傾向
 - ①環境・プロセス分析機器分野の基本プロセス機器の需要増加、環境用水質分析計の更新需要で増収
 - ②科学分析機器分野のラボ用分析計・ポータブル分析計は販売促進効果で増加、医療関連機器は新生産棟本格稼働で増産体制を確立し増収
 - ③電極・標準液、保守・修理は堅調に推移
- 海外は、中国及び韓国(環境用水質)向け水質計を中心に海外輸出が順調に推移し増収
- 利益面は、売上高の増加とコスト削減や製品構成の変化による効果で原価率が低減し増益

不動産賃貸事業(増収・増益)

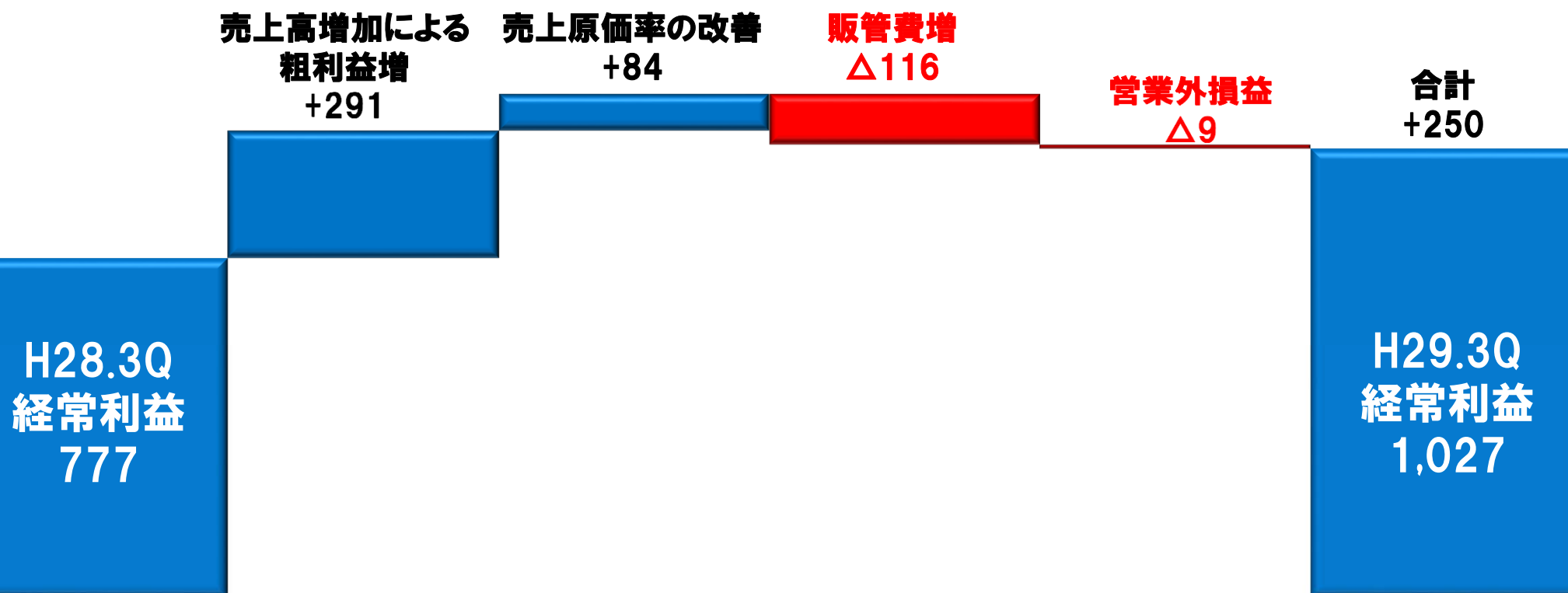
売上高198百万円(23.7%増)、セグメント利益127百万円(55.9%増)

- 前年度に購入した本社隣接土地を駐車場運営会社に賃貸開始し増収・増益

第3四半期経常利益増減分析(前年同期比)



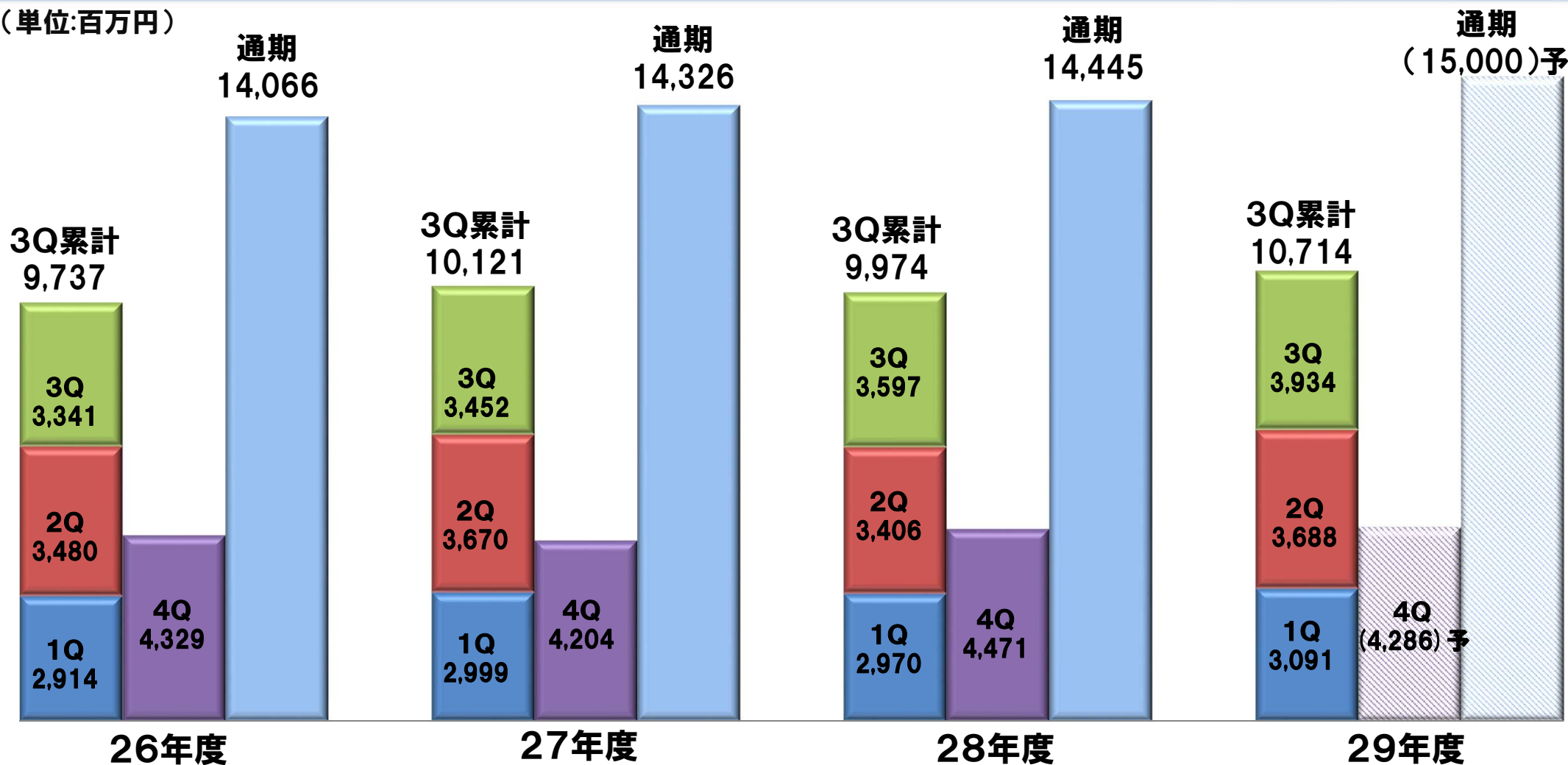
(単位:百万円)



四半期別経営成績（売上高）



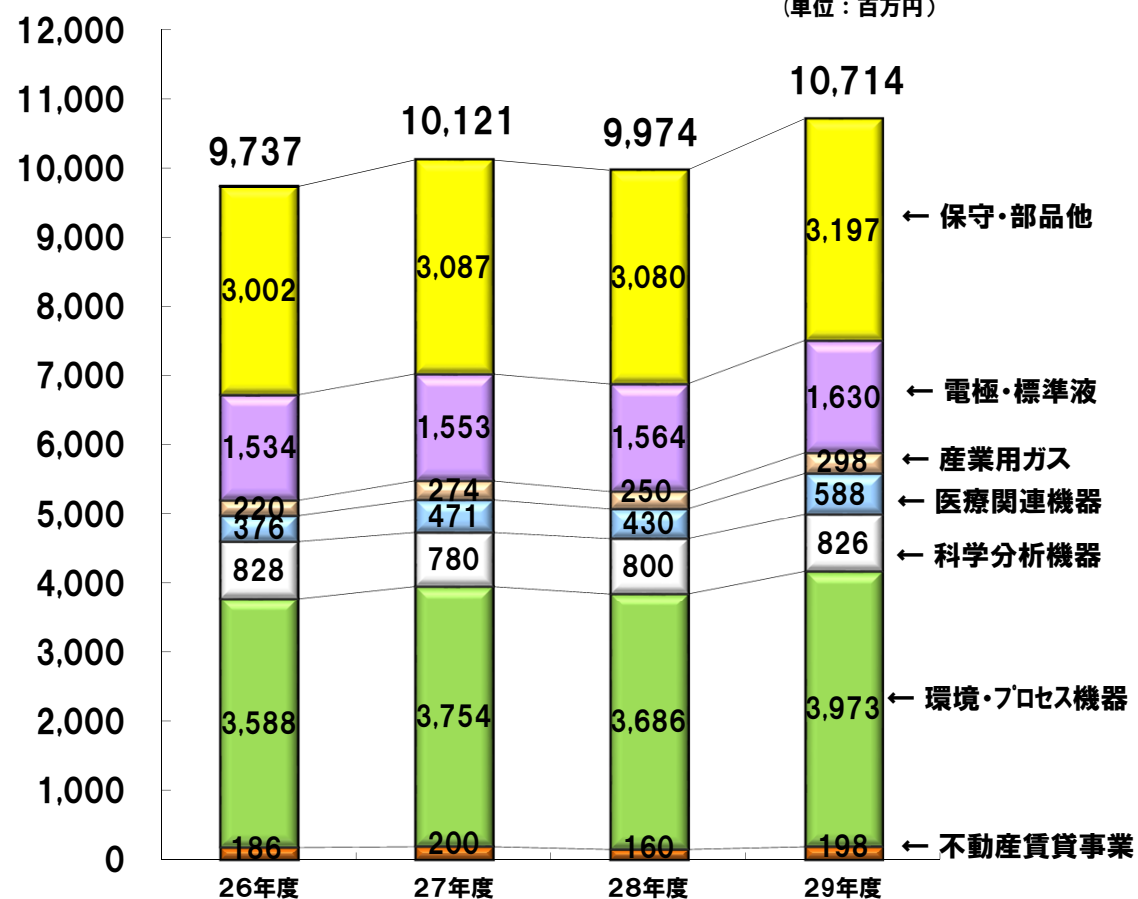
（単位:百万円）



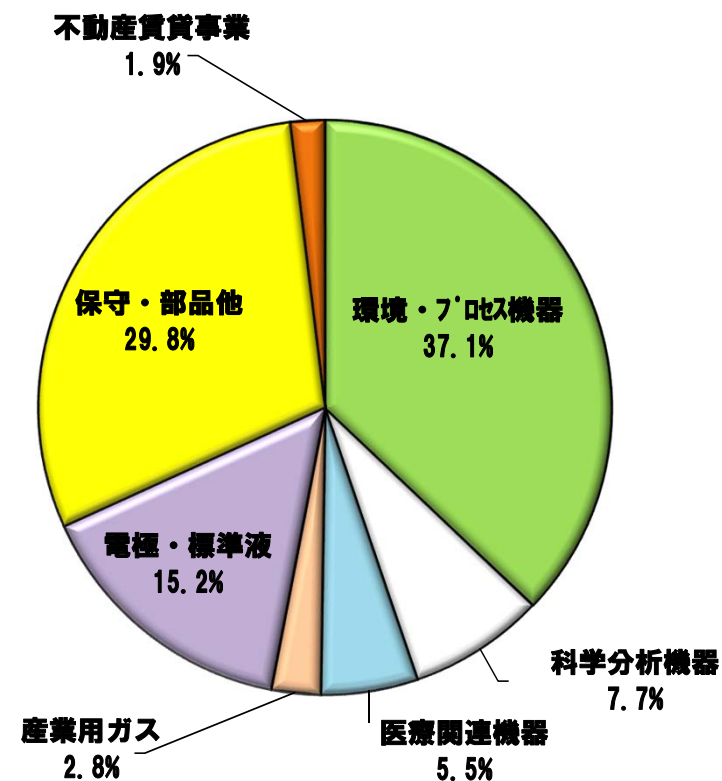
第3四半期売上高推移と構成比

売上高推移

(単位：百万円)



売上高構成比



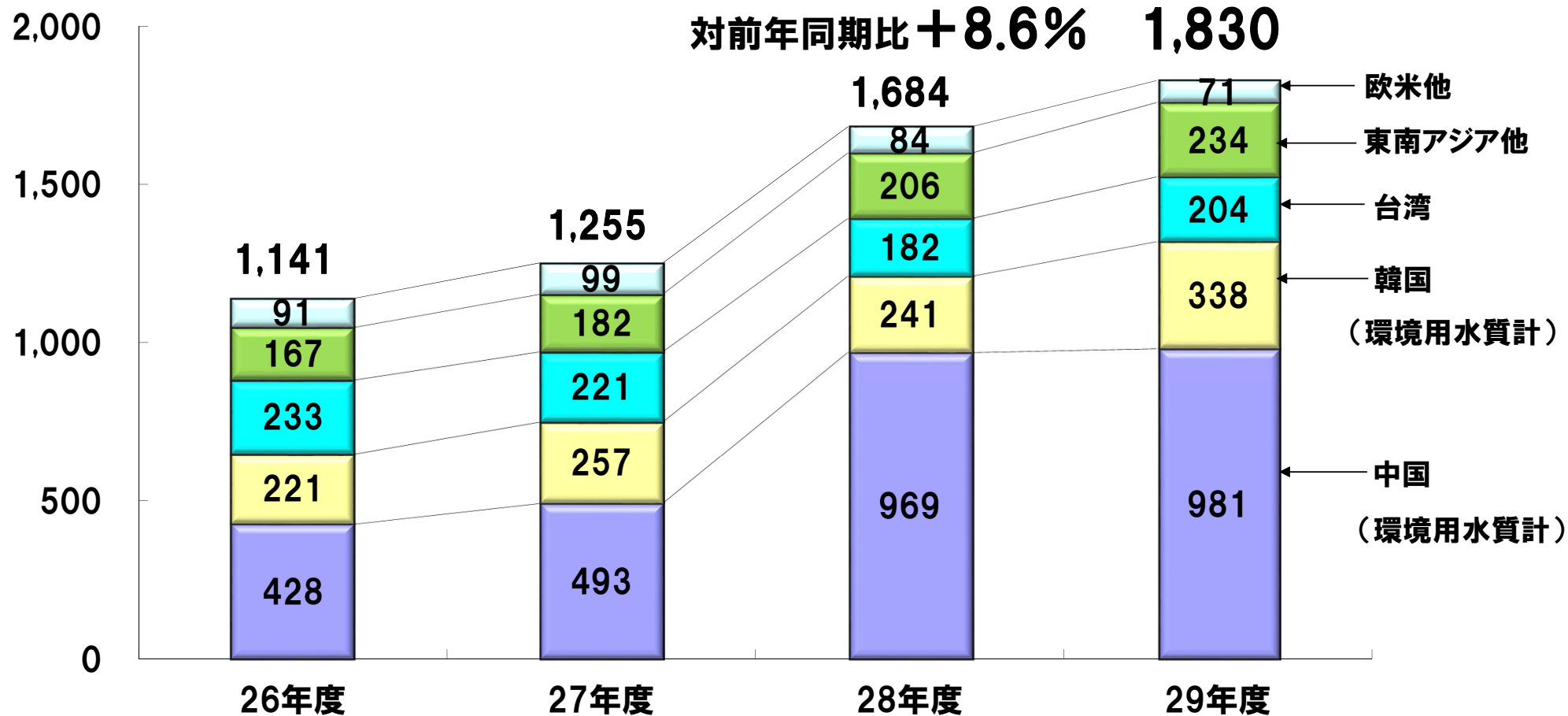
海外売上高第3四半期推移



売上高海外比率 **17.1%**

(単位:百万円)

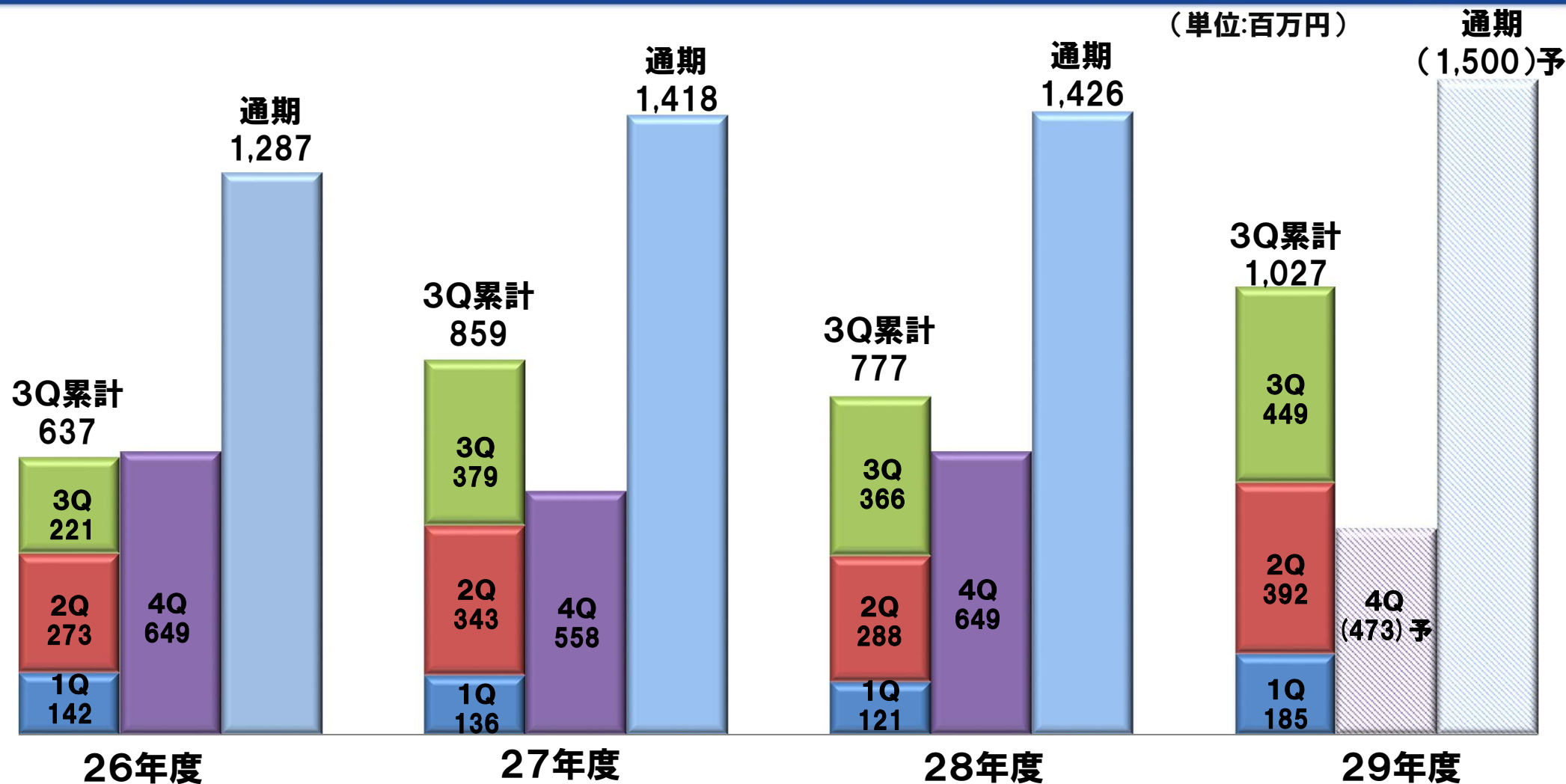
対前年同期比 **+8.6%** **1,830**



四半期別経営成績（経常利益）



（単位:百万円）



貸借対照表及び損益計算書(要約)



貸借対照表

(単位:百万円)

	前期 29年3月末	当期 29年12月末	増減
(資産の部)			
流動資産	12,991	13,180	189
現金及び預金	4,536	4,360	△176
売掛金及び受取手形	6,151	5,869	△282
棚卸資産	1,816	2,447	630
その他	487	504	17
固定資産	6,994	7,603	608
資産合計	19,986	20,784	797
(負債の部)			
流動負債	2,922	3,236	314
固定負債	3,294	3,131	△162
負債合計	6,216	6,368	151
(純資産の部)			
株主資本	12,992	13,425	433
その他の包括利益累計額	777	989	212
純資産合計	13,769	14,415	645
負債純資産合計	19,986	20,784	797

- 総資産は売掛金及び受取手形の回収などが進み減少するも、棚卸資産の増加と医療関連機器生産棟建設により797百万円増加し、20,784百万円
- 自己資本比率は68.9%→69.4%

損益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期 28年4月1日 28年12月31日	当第3四半期 29年4月1日 29年12月31日	増減
売上高	9,974	10,714	739
売上原価	6,049	6,413	363
売上総利益	3,925	4,301	376
販売費及び一般管理費	3,194	3,310	116
営業利益	730	990	259
営業外収益	62	45	△16
営業外費用	15	8	△6
経常利益	777	1,027	250
特別利益	0	0	△0
特別損失	0	7	6
税金等調整前四半期純利益	776	1,020	243
法人税等	274	328	53
四半期純利益	501	691	189

平成30年3月期業績予想



- ・ 国内では引き続き環境省第5次水質総量規制時に販売した機器の更新需要に注力、海外では中国をはじめとするアジア地区に積極的な営業活動を継続していきます。
しかしながら、医療関連機器生産棟の償却費負担等発生しますので、コスト削減、生産性の向上など体質強化の取り組みを進め、期初の利益を確保する所存です。
- ・ 現時点で平成29年5月9日に公表の通期業績予想の修正はありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合には、適時に開示してまいります。

(単位:百万円)

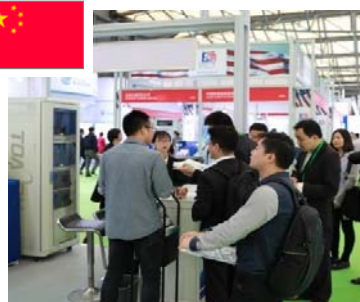
	H29.3 実績	H30.3 予想	増 減	
			金額	%
売 上 高	14,445	15,000	554	3.8
営 業 利 益	1,365	1,470	104	7.7
経 常 利 益	1,426	1,500	73	5.1
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,226	1,000	Δ 226	Δ 18.5

特別利益(不動産売却益)338百万円

(1) 海外の大規模展示会へ積極展開

平成30年3月、初めてUAE(アラブ首長国連邦)で出展する予定です。
新規に契約した代理店の協力も得て、当社としては、今年度、海外の大規模展示会へ過去最多の出展となります。

中国



IE expo 2017
(第18回中国環境博覧会)



CIEPEC 2017
(第15回中国国際環境保護展)

インド

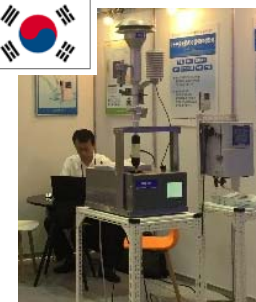


India Lab
Expo 2017



CEM India 2017

韓国



ENVEX 2017

UAE



ARABLAB 2018

(2) 平成29年度東北地域カーボン・オフセットグランプリで支援賞を受賞

平成30年1月、当社のカーボン・オフセット※が、東北地域を支援する地球温暖化防止の取組みの優良事例として表彰されることになりました。表彰式は、2月15日に仙台市にて執り行われます。

※ 平成28年3月、「やまがた太陽と森林(もり)の会」に参加し、山形県内の家庭等に設置された太陽光発電設備により創出されたクレジットを活用し、本社の消費電力に充当しました。
同クレジットの代金は山形県の環境保全事業に活用されます。



1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

＜お問い合わせ＞
東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課

電話:03-3202-0242
メール:ir@toadkk.co.jp
URL:<http://www.toadkk.co.jp/>